

# 長時間働かせ、残業代なし 裁量労働制拡大に反対 エキタス東海の緊急街宣に井上、本村氏ら

井上哲士参院議員、本村伸子衆院議員と、すやま初美参院愛知選挙区候補は2月25日夜、名古屋駅前でエキタス東海が開いた「裁量労働制の拡大に反対する緊急街宣」に参加しました。

井上氏は、裁量労働制は「定額働かせ放題」制度だと批判。野党六党



で労働時間の再調査と「働き方改革」法案の提出断念を与党に要求したことを紹介し、力をあわせて「働かせ方改善」を阻

止しようとして訴えました。

保育士、高校教師、弁護士、学者らが次々にスピーチ。「名古屋過労死を考える家族の会」の内野博子さんや立憲民主党の近藤昭一、吉田統彦両衆院議員のメッセージが紹介されました。

参加者は、「働いた分の金くらい払

え」と書いたボードなどを掲げてアピール。

ツイッターを見て参加したという青年は「周りは毎日のように残業している。NHKや電通の過労死も他人事とは思えない。さらに働かせて残業代も払わない裁量労働制には反対です」と話していました。

## 東海市議選 2議席確保で9条改憲ノリの審判を

井上哲士参院議員は2月24日、愛知県東海市議選(定数22、3月18日告示、同25日投票)の勝利をめざす演説会に参加し、現職の坂ゆかり、新人の近藤みほこの両氏の当選で現有二議席の確保を訴えました。

井上氏は、4年前に新日鉄住金で火災事故

が相次いださいに自らも市議団と現地調査に入ったことを紹介し、大企業に堂々とものを言い、降下ばいじん問題の解決を迫り、予算を開発優先でなく、命・くらし中心に使えと要求してきた党議席を必ず押し上げ、「安倍政権と自民党に9条改憲ノ一を突き付けよう」と訴えました。

## 三菱小牧南工場を兵たん拠点にするな 衆院予算委分科会 本村議員

本村伸子衆院議員は2月26日、予算委員会分科会で、最新鋭ステルス戦闘機F35Aの整備拠点の設置が進む三菱重工小牧南工場(愛知県豊山町)に関し、隣接する県営名古屋空港を米軍や他国軍機の整備拠点として使用させないよう求めました。

本村氏は、地元自治体の首長らが、同空港において「米軍機の利用などがないように」との要望書を国に繰り返し返していることに加え、「これに反する事態だ。米軍・他国軍の整備や兵たんの拠点として使わせないよう約束を」と迫りました。



「(自衛隊以外の)他のF35の整備について、今後は、米政府等と調整していくことに

なる」と述べました。

さらに、本村氏は、昨年6月20日、同工場で日本初の最終組み立てをしたF35Aが、試験飛行中に、冷却系統の不具合のため名古屋空港に緊急着陸したことや、F35が米軍のマークを付けて試験飛行していたことを指摘し、「事故を起したら、誰が責任を取るのか」とたどしました。

小野寺防衛相は同機の保有は自衛隊だが、11月は米空軍の管理下で実施した検査のため機体に米空軍のマークを付けたとし、「事故発生時の責任等を踏まえ、日米間でしかるべく調整する」と述べました。

また、本村氏は、航空自衛隊岐阜基地(各務原市)で計画される「電子評価施設(仮称)」「(\*)について質問しました。  
(\*)電波を出して敵レーダーを妨害したり、妨害電波を無害化することを研究する施設

## 公健法審議で調査 たけだ議員

公害健康被害補償法(公健法)の審議に関わり、たけだ良介参院議員が2月27日、名古屋市と東海市に調査に入りました。島津幸広前衆院議員、たけだ議員秘書、市田忠義参院議員秘書や名古屋市の山口清明、樽松順子、東海市の辻井タカ子、坂ゆかりの各市議、近藤みほこ市議候補も同行しました。公健法の認定患者に対する医療費、療養手当等の財源の一部になっている自動車重量税の交付期限が今年度末のため、継続するために法改正が必要になります。

一行は、名古屋、東海両市役所から大気汚染の状況などを聞き取りました。



南区公害患者と家族の会の方や東海市の患者の方から実情を聞き、東海市での降下ばいじんの被害についても聞きました。

3月19日(月)のブロックいっせい宣伝を成功させよう